

【2024年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		遊びと勉強のスペースをロールカーテンで仕切る等、子どもたちが安心して過ごせるように、活動室の使い方を工夫しています。また、カーテンレールを設置し、トイレと別に着替えやクールダウンできるスペースを確保しました。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用される児童の人数や特性、状況に応じて、配置する人員を調整し、支援を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関先から事業所内は大きな段差が無く、バリアフリーになっていて、トイレも十分な広さがあり、手すりを設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃を毎日行い、できる限り清潔な環境を整える事を心掛けています。机に関しては使用した後に、使用した児童本人に清掃をしてもらえるように促しており、清潔にする事やその大切さを学んでもらえるようにしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		普段は職員のロッカールームやおもちゃ置き場として使用しているスペースを必要に応じて開放し、個別的に気持ちを聴取する場になっています。また、全体の活動場所と離れて過ごせるように配慮を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所職員全員が見られる業務日報や記録を使用し、業務改善に取り組み、適宜振り返りを行うようにしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けにアンケートを実施し、評価表の結果の確認を行い、事業所職員へ周知して業務改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務の前後にミーティングの時間を設け、意見交換や振り返りを行い、日々の支援につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修の実施や外部研修へも参加し、資質向上に努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		2025年2月にホームページの自事業所ページにて支援プログラムの公表を行いました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○		共通のアセスメントシートを使用し、送迎時や電話にて保護者様の意見や意向を聴き取り、こちらで過ごされている児童の様子や気持ちと合わせて個別支援計画の作成を行っています。
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に携わる職員ができる限り参加してモニタリング会議を行い、支援内容の検討を行っています。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保護者様から同意をいただいた個別支援計画を職員全員で共有し、支援計画に沿った支援が行えているか、日々振り返りや確認を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		共通のアセスメントシートを活用し、児童の適応行動の状況を把握しています。それと合わせて日々の行動観察を行い、成長や変化を見逃さないように心掛けています。

		公表年月		2025年2月	事業所名	ハッピーライフ3ぼいんと
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って、児童一人一人に合った支援、活動内容になるように職員間で話し合い、検討しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的にミーティングを行い、活動内容を決定しています。その他朝礼、終礼などで出た案や児童からの発信も大切にしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の児童の様子を観察し、興味関心にあった遊びや活動を提案できるように心掛けています。楽しめている既存の遊びや活動に関しては頻度を考え、新たなルールを加えたり、成長に合ったツールを使用する等、工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童一人一人の状況や特性に応じて、取り組み方や作業内容の差別化を図り、無理のない範囲で集団活動に参加できるように支援する事を心掛けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		行事計画書を作成、活用して、活動内容やタイムスケジュール、支援についての役割分担を確認しています。また、状況に応じて必要な変更や急な応対がある場合は都度話し合い、連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	時間の関係で終礼ができない日もあるので、朝礼を基本の振り返り時間としていますが、今後は業務の効率化を目指して、時間を確保できるように努めます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後に日々個人記録を作成し、その記録と振り返り、モニタリング会議を元に支援の検証、改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画の作成期間、または児童の様子や状況に合わせてモニタリングを行い、支援内容の見直しや変更を行っています。	
	24	【放デイ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインを踏まえて、児童の心身の状況や特性に配慮し、活動内容や支援の方法を検討、実施しています。	
	25	【放デイ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		創作活動、製作、クッキングなどの活動の中で選択したり、決定するタイミングを意図的に設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や直接支援を行う担当者が会議に参加し、児童の情報や支援内容の共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて地域の事業所や保育所、学校等と連携を取っています。	
	28	【放デイ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		お迎え時に児童の様子や状況について情報共有を行ったり、時間調整や引き渡し方法など連絡を取っています。	
	29	【放デイ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前からご利用されている児童の場合は、お迎え時に情報を共有したり、聞き取りを行う事で支援に繋がっています。	
	30	【放デイ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	学校を卒業したご利用者様が過去一名しかおらず、ほとんど実績がありません。今後は児童の将来を見据えて、積極的に情報を提供していきたいと思います。	

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	31	【児発】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	32	【児発】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		地域の児童発達支援センターからのスーパーバイズや助言をいただくような連携はありませんが、研修を受ける機会は設けています。
	34	【放デイ】放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、地域の公園遊びや外出活動の際に他のこどもと一緒に鬼ごっこをしたり、自然と関わりを持つ機会はあります。	
	35	【放デイ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		業務時間や支援時間に支障の出ない範囲で、今後は積極的に参加していきたいと考えています。
保護者への説明等	36	【児発】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に児童の様子や課題などについて伝え合い、日々情報を共有しています。ご家庭での困りごとについても聞き取りをし、共通理解を持てるように努めています。	
	38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		「性教育」をテーマにした法人主催の保護者向け研修会を実施しました。今後も保護者向けの研修や情報提供を行っています。	
	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明しています。保護者様から質問があった時や内容に変更があった際は、随時ご説明させていただきます。	
	40	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		最近ご利用児童の年齢が上がってきたので、児童本人に何がしたいか質問したり、希望の聞き取りを積極的に行っています。	保護者様とは電話や送迎時にお話をして意向を確認する事が多く、ゆっくりお話をする機会は作れていないので、今後は面談など、リラックスして話し合える時間を作っていきたいと思います。
	41	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を作成、更新の都度、原紙をお見せしながら口頭でご説明させていただいております。	
	42	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族の方から悩みや相談を受けた際は職員間で情報を共有し、必要に応じて助言や支援内容の変更を行っています。	
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		2024年9月に事業所として初めての保護者参加型イベントを開催しました。ご兄弟の方にもご参加いただき、保護者様同士でのご交流も自然と生まれていたので、今後も定期的に開催していきたいと考えています。	
	44	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際は迅速に情報共有を行い、適切な対応が取れるように職員間で話し合い、自事業所だけで難しい場合は同法人内の他事業所へ相談しています。	
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムを開設し、日々の児童の様子や活動内容がわかりやすく伝わるように写真を多く活用しています。今後はその他、有用性のある情報についても発信していきたいと思います。	

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明等	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報をまとめた個別ファイルは鍵付きのロッカーに保管し、写真などパソコン内の情報を含めて取り扱いに注意しています。	
	47	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童の特性に合わせて視覚情報を活用したり、環境調整を行う等の配慮を行っています。保護者様についても、伝わりやすい言葉選びを心掛けています。	
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待した活動は行っておりません。方法や活動内容の検討を行っております。
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しています。	マニュアルについての周知が徹底されていないので、しっかり周知していきます。
	50	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、非常災害に対する避難訓練を行っております。	特定の災害に対する避難訓練ばかりになっている傾向があるので、いろんな事を想定した訓練を実施していきます。
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にアセスメントシート等の記入用紙と聞き取りで確認を行っています。また、日々の情報共有の中で変化、変更についても確認しています。	
	52	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にサポートブック等の記入用紙と聞き取りで確認を行っています。特別な配慮が必要な場合は、医師の診断書や指示書をいただくようにします。	
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しています。おもちゃ等の物の置き場所や危険と思われる環境や状況を減らし、対応策を考えていきます。	
	54	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画に基づく取り組み内容の周知は不十分です。書面などによる周知の方法を検討します。
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有しています。	再発防止に向けた方策についての話し合いが不十分な場合があるため、今後は時間を確保していきます。
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を毎年実施し、全職員が参加して、その後に職員間で話し合う時間を設けています。	
	57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要かどうか事業所内で検討し、保護者様に説明した上で、個別支援計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。